



7/17 (土) 屋外で楽しむ
Jazz in 浦添

第20回ジャズイン浦添が市てだこホール横のてだこ広場で開催され、県内で活躍するジャズ演奏家らが出演しました。ゲストとして浦添小学校金管バンドが日ごろの練習の成果を披露するとともに、プロの演奏家との競演も果たしました。また、昨年に引き続き、浦添ゆいゆいキッズシアターとOJAオーケストラのコラボレーションによるジャズと創作ダンスも行われました。

当日は市運動公園で浦添てだこまつりが開催されていて、まつり会場に向かう人たちも足を止めて聴き入る様子が見られ、多くの人が本格的なジャズ演奏を楽しみました。



7/25 (日) いにしへの歴史と
ロマンを感じて

現在復元整備が進められている国指定史跡「浦添グスク」とすでに復元が完了した「浦添ようどれ」の文化財を通して浦添の歴史と文化に親しもうと、「浦添グスク・ようどれ探検」が今年も行われました。

参加者は毎年増え、今回は約100名の参加があり、ガイドの説明を受けながら新しく探検に追加された「仲間桶川」や「クバサーヌ御嶽」をはじめ、8か所を回りました。参加者からは「浦添のこの辺りにグスクがあるということは大体でしか分からず、勉強になりました。自由研究したいです」との感想などがありました。



8/7 (土) 8/8 (日) 子ども達の壮大なオペラに
拍手喝さい!

市文化芸術振興事業「子どもオペラワークショップ」のプレ公演「交わされた絆〜ようどれに眠る姫〜」が市てだこホール大ホールで開催されました。

舞台の内容は、現代に生きる二人の少女の友情と、浦添ようどれに眠る尚寧王とその王妃の魂のきずなを描いたもので、約3か月間のワークショップを経た浦添市内の小中高生87人によって演劇、ダンス、オーケストラ演奏などが披露されました。満員の会場からは大人顔負けの内容に拍手喝さいが湧き起こりました。

今回のプレ公演は12月に開催予定のオペラ本公演に向けたもので、今後の練習にますます熱が入ります。



7/15 (木) 浦添市、「まちづくりシナリオ賞」受賞!

6月のまちづくり月間における「まち交大賞」(国土交通省後援)で、浦添市の「仲間地区を中心としたまちづくり」の取組が「まちづくりシナリオ賞」を受賞し、その表彰式が東京都で行われました。

この賞は都市再生整備計画において、テーマの設定、まちづくりのアイディア、計画策定のプロセスの中で特徴的で優秀な地区を表彰するものです。

本市の仲間地区への取組は、これまで約10年近くにわたり地域住民とのワークショップなどを通じ議論を重ねながら具体的なイメージを定め、街並の再生や地域資源の復元による歴史文化の回廊づくりを目指しています。

8/16 (月) 浦添の誇り! ハンドボール王国の子ども達!

第23回全国小学生ハンドボール大会が7/30~8/1の日程で京都府京田辺市で行われ、沖縄県代表として出場した男子の港川小学校と女子の浦城小学校がともに全国3位となり、その結果報告が8/16に市役所で行われました。

報告会のなかで、港川小の三輪華江子監督は、「全国3位ということで、ハンドボール王国としての結果を残せたと思う」と話しました。また浦城小の栗国茂則監督は「一番良かったのは選手20人全員がコートに上がり、全員得点できたことです」と話しました。



8/13 (金) 連携強化で暴力団から
市民の安全を守ります!

浦添警察署と浦添市による「暴力団員に対する市営住宅の使用制限に関する協定書」の締結式がありました。これは、警察と行政の連携を強化し、暴力団員の市営住宅の使用制限や暴力団員の不当介入の排除等を目的としています。

締結式の中で親川啓和浦添署長は、「暴力団事務所ができてから排除するのは非常に困難であり、未然に防ぐためにも市と連携して情報交換できるのはとても有意義なことです」と述べました。また、市長は「市民の安心、安全、安定を提供することは市のトップレベルの政策であり、警察署と連携できてうれしく思う」と話しました。



7/20 (火) あこがれの海外へ短期留学

「浦添市中学生海外短期留学生派遣事業結団式」が市役所で行われました。この事業は国際性豊かな人材を育成しようと昨年より予定されていましたが、新型インフルエンザの影響で中止となり、今回が第1回目となります。

今回は市内の中学校から選ばれた5名によって、7/21~8/19の日程でアメリカのシアトル近郊に約4週間滞在しました。参加者代表の糸数なつきさんからは「コミュニケーションを養う良い機会だと思います。日本と違うことを学び、たくさんの経験を夢への第一歩としたい」と話していました。